

# 議員懇談会

～議員定数削減について～

八峰町議会では、議員定数削減について、計3回議員懇談会を開催しました。議員定数に関する議員懇談会における協議結果と、条例改正に至るまでの経過と考え方について報告します。

## ●第1回議員懇談会（9月20日開催）

議員個々の考え方を述べ、「賛成」「反対」の立場で討論を行った。その結果、「賛成7人、反対7人」となり、意見が分かれた。

## ●第2回議員懇談会（10月28日開催）

無記名投票を実施。その結果、「賛成7人、反対7人」となり、結論を得ない状況となった。意見の中には、「同数ということは「現状維持」ととらえるものではないか」など、様々な意見交換をしたが、八峰町議会として「大同小異」の立場を取り、方向としては「削減ありき」ということを議会の総意とした。



無記名投票開票の状況

## ●第3回議員懇談会（11月5日開催）

具体的に個々の考え方を述べてもらった。定数に関しては、「1人削減」が2人、他は「2人削減」が圧倒的に多く、現行の14人から「2人減の定数12人」とすることにした。

## ●議員定数についての考え

安易な定数削減は、住民意思の反映機能の低下を招く危険性をはらんでいると言える。次期選挙から定数2人削減となるが、今後の議員定数に関する検討に当たっては、単なる経費削減の面からでなく、議会の役割・議会運営の在り方など、トータル的に検討することが必要である。

# ジオパークによる地域の活性化を



腰山 良悦 議員

**質問** 日本ジオパークに認定され、推進協議会では出前授業、講座、ツアーなど活動されているが、町民に理解されていないのでは。今後地域の活性化にどう活かすのか。推進していくうえで、どのような課題があり、どう支援されるのか。広くPRし、知ってもらう手段としてジオアート販売、写真コンテストやマラソン大会などの考えは。

を図りながらジオツアー31回参加者延512名、出前講座22回参加者延532名、講座・講演会30回、参加者延662名、ガイド養成講座14回参加者延151名と積極的に活動を行ってきた。広報はつぼうや地元新聞等を活用し、町民に周知を図り、2月には町民向けにセミナーを開催する予定だ。町民のジオパークに関する理解度や認知度についての分析は未だしていないので、来年度アンケート調査を実施し今後の活動の参考にしたい。ジオパークをどう活かすのかについて、八峰白山ジオパーク構想では、全体テーマを「白山山地の恵みに生きる」とし、「大地―微生物―植物―動物―人々」のつながりを考え、気づき、感動を得ることが出来る公園を目指すとともに、グリーン



小学生対象のジオパーク野外授業の様子

ンツーリズム・ブルーツームに加え、新たな観光形態を確立することで、産業の振興を図ることとしている。認定の際、日本ジオパーク委員会から15項目の課題が提示され、ハードは町が、ソフトは推進協議会が主体となって課題解決に取り組みたい。PRはポスターが町内8か所で販売され、売れ行きも好調である。ジオアートはクリアケースなど様々なグッズに活用できることから素材として大いに期待するところだ。マラソン大会については今後検討課題とする。

**質問** 結婚支援について、イベントが行われたようだが成果はあがっているのか。県に登録されている町サポーターの活動は町とどのように連携しているのか。町独自の組織づくりによる積極的な支援は考えられないか。  
**答弁** 秋田県の婚姻率は、平成12年度以降、全国最下位となっている。県は出会いの場の創出、支援強化で「秋田結婚支援センター」を設立した。メルマガでイベント情報を発信し、多種多様なイベントを開催している。今後町内の飲食店などの協力を得ながらさらに機会をふやしていきたい。

町独自でもっと結婚支援を